

TSUMUGI

vol.11 — 2023.1



加賀市の 未来の医療を担う 金の卵たち

近年、研修医はよりよい臨床研修環境を求め、都市部など県外での研修を選択することが多くなり、2つの大学医学部を有する石川県においても、県内を選択する研修医は例年100名を下回っています。研修医確保に難渋する病院が多々ある中、当院には毎年定員を上回る募集があり、次年度も基幹型(当院で2年間研修)研修医3名、協力型(金沢大学と当院で1年ずつ研修)研修医2名の定員を確保できる見込みです。

未来の医療を担う金の卵である研修医の教育に携わり6年、短期研修も含めると53名の研修医が当院から巣立ちました。研修後に、大学病院のICU研修で難易度の高い処置を次々とやり遂げ、指導医をうならせた卒業生の活躍や、多数の卒業生が当院での研修を後輩たちに勧めてくれていることなど、悦ばしい報告を耳にする機会が増え、研修に関わる院内内外の皆さま、当院を選択してくれた卵たちに感謝の気持ちでいっぱいです。

当院の臨床研修体制について、今年度JCEP (Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training) による第三者評価を受審しました。研修病院として存続する上で、今後必須化される評価機構による本調査は、優れた医師養成にあたり研修に不足したものがないか、専門家にプログラムや研修体制を詳細に評価していただくものです。



医員 岡田 和弘
(おかだ かずひろ)

- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本消化器病学会専門医
- 日本消化器内視鏡学会専門医
- 日本病院総合診療医学会認定医
- 臨床研修指導医
- 総合診療専門研修特任指導医

JCEPの評価項目の1つに、「臨床研修における役割・機能について地域からの声に耳を傾けている」ことが挙げられています。研修教育の場が病院のみならず地域全体で行われ、さまざまな方々からご指導いただくことで、医師としての素養を深められることは明白です。現在は地域と研修医との接点が患者さんやご家族、消防隊員などに限られていますが、近い未来には研修医の育成が病院を含めた地域全体で行われることにより、より多くの研修医たちが地域医療に興味を持ち、加賀市の医療の中心を担う人財へと成長することが期待されます。

熱意のある指導医、温かい職員・地域の方々と共に、真剣に医学教育と向き合い、「優れた医療人を育成します」。20年後、30年後、40年後にも、「おもいやり」を持ち、「救急搬送を断らない」「地域に根付いた」「信頼される最適な」医療が提供し続けられるよう、金の卵たちの成長を温かく見守り支えていただきたいと思います。引き続きご指導を宜しくお願い申し上げます。



▲研修医室

令和4年度 加賀市医療センター地域連携交流会を開催しました

新型コロナウイルスによる影響が続く中ではありますが、少しでも地域の皆さまと『顔の見える交流会』の実現に向け、院内職員間で何度も話し合いとプレテストを重ね、Zoomと対面のハイブリッド形式で開催いたしました。初めての試みであり、トラブルが発生しないかとドキドキしながらの交流会でしたが、多くの皆さまにご参加いただき無事終えることができました。

文化講演会として公立小松大学の山本博学長より『医の源流を訪ねて～インド・中国から南加賀まで～』についてのお話をいただき、ご参加いただいた方々からは、とても興味深い内容だったとのご意見を多くいただき大変好評でした。

今後も定期的に交流会を開催致しますので、ぜひご参加をよろしくお願いいたします。



呼吸サポートチームのご紹介

当センターRST(呼吸サポートチーム)は、酸素療法及び人工呼吸療法下の患者さんに対し、安全で効果的な呼吸ケアを提供することを目的に発足し、7年目を迎えました。メンバーは、医師・認定看護師・理学療法士・臨床工学技士など、多職種で活動しています。

活動内容としては、人工呼吸器装着患者さんの侵襲を最小にできるように、機器の設定変更や早期離脱の支援、下側肺障害予防のための体位ドレナージや口腔ケア、早期離床に向けてのリハビリテーションなどを中心に行っています。

現在、在宅での酸素療法や人工呼吸管理が必要な患者さんが増加しています。この患者さんが1日でも多く在宅で過ごせるような移行支援にRSTが介入し、地域とのシームレスな連携に取り組んでいきたいと思っております。



医療の質向上に取り組んでいます

医療の質とは、「個人および集団に対して行われる医療サービスが、望ましい健康アウトカム(結果)を導く可能性を高める度合いであり、かつそれが最新の専門知識に矛盾しない度合い」について指標を用いて表し、評価したものです。

なお、医療の質は、次の3つの側面から評価します。

1	構造 (Structure)	施設、医療機器、スタッフの種類や数など
2	プロセス (Process)	実際に行われた診療・看護内容など
3	アウトカム (Outcome)	診療や看護の結果としての患者さんの健康状態など

これらの結果を基に、課題や改善点を見つけ出し、医療の質の向上を図ることを目的としています。

加賀市医療センターでは、平成29年度からホームページにて公表を行っております。

令和3年度データは、1月中旬にホームページにて掲載予定です。ぜひ、ご覧ください。

